

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	社会福祉法人 柚の木福祉会
代表者名	白谷 憲生
所在地	糟屋郡志免町 4-22-11
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) 福岡市西区姪浜駅南 1-10-11
業種	医療、福祉
電話番号	092-937-0529
ホームページ	https://yuzunokifukushikai.wixsite.com/yuzunoki

Well-being 向上 に向けた取組み	5 年連続！経済産業省「健康経営優良法人 2024」に認定されました！ 認定は「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる」という証しです。 地域福祉のさらなる充実を目指し確実に一步一步進んで参ります。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		・同一賃金・同一労働制度を導入 ・昇進や昇格などに関する公正な社内基準の設定と明確化 ・ご利用者・職員・地域社会等の立場を踏まえたうえで、社会福祉法人のガバナンス強化 ・事業使命である「誰もが安心して生活できる住みよい社会を作る」推進					○			○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・育児休業、育児休暇の設定(性別、職位に拘わらず取得) ・短時間勤務制度の取組 ・福祉の通所サービスは現場での支援が基本であるが、昨今のコロナ禍中やご利用者ご家族のご都合に合わせてZoom面談対応、密な電話連絡等でサービス低下にならないよう務めている					○			○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・法務省「17の人権啓発活動強調事項」順守 ・法の下の平等 障がい者、女性、性的指向 ・性自認等への理解・受容の促進・世界人権宣言の学び、人権パスポート職員取得率目標100%					○			○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・柚の木健康アクションプランの徹底に拠り「健康経営優良法人プライト500」の3年連続受賞(2021～2023)				○	○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・教育部主催の入職研修(1名でも入職時必ず行う) ・柚の木HEPUTAGON©主催各種キャリアアップ研修 ・次期基幹職員研修 ・毎月1回開催の月初全職員研修に拠り全職員のベクトル合わせ					○	○		○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・ICTインフラ整備に拠るペーパーレス化の推進 ・工場、店舗に於ける資源利用の削減や再利用推進 ・ごみの適正な分別・処理の実施				○		○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○		・LED照明導入に拠る節電と、小まめ消灯の徹底 ・クールビズ、ウォームビズの推進							○					○	○				
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○		・九州大学が取り組み開発したカイコパウダーをベースとした「カイコクッキー」の製造元として、天然資源の持続的利用を前提とした活動						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・トイレ設備の水活用として、定期的な自動洗浄を行わず、節水を前提とした利用方法としている						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		・奇数月発行の「柚の木だより」に拠り、活動方針をご利用者ご家族は勿論、ステークホルダー全般に告知と理解を得ている ・毎年開催の「ハートTOハート」で、ご利用者ご家族及び地域の方々、市町村役場の方をもご招待し、「垣根の無い福祉」を発信している				○								○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・障がいがある方で介護が必要な方のニーズを把握し、「障がい」を一括りにするのではなく、一人ひとりがどんなサービスを求めているかを考えたライフステージ全般に寄り添う体制を整備している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・コンプライアンス研修 1回/年開催 ・個人情報データのパスワード管理 ・サイバーセキュリティの構築と強化を常時取り組んでいる ・プライバシーの確保と保障を行う																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・社会福祉法人として、全職員は毎年反社会的勢力排除に関する誓約書を提出すると共に、毎月開催の全職員参加研修の理事長講話内に於いて、法令順守の訓示が繰り返し行われている ・当事業所にかかわるすべての方(ステークホルダー)の安心安全に関して、全職員は基本的な意識や行動を統一し、規律・規範を順守する																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○			・「理念」「行動指針」「夢プラン基本方針」を社内で共有している ・ライフステージへのフルサポートと共にノーマライゼーション・インクルージョンの普及、共に生きる町づくり実践、ボランティア受け入れ、地域イベント参加等による事業を展開し、屋根のない施設作りをめざしている																○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画書(BCP)の作成と全職員への共有 ・危機管理は「平時(事前管理)」を徹底する方針となっている ・緊急事態Levelを設定し、全職員共有が出来ている ・人命優先、人権順守の方針を徹底している ・施設毎に緊急避難訓練とその対応マニュアルを作成している													○	○	○		○